

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【公表番号】特表2007-512347(P2007-512347A)

【公表日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【年通号数】公開・登録公報2007-018

【出願番号】特願2006-541438(P2006-541438)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/366	(2006.01)
A 6 1 K	31/40	(2006.01)
A 6 1 K	31/404	(2006.01)
A 6 1 K	31/4418	(2006.01)
A 6 1 K	45/06	(2006.01)
A 6 1 K	31/22	(2006.01)
A 6 1 P	27/06	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	31/366	
A 6 1 K	31/40	
A 6 1 K	31/404	
A 6 1 K	31/4418	
A 6 1 K	45/06	
A 6 1 K	31/22	
A 6 1 P	27/06	
A 6 1 P	43/00	1 2 1

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月21日(2007.11.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

患者において、縁内障発生のリスクを減少させるための薬剤組成物であつて、ヒドロキシメチルグルタルリル補酵素A(HMG-CoA)レダクターゼが触媒する、HMG-CoAからメバロン酸への変換を阻害する化合物を、前記減少を達成するのに十分な量で含む、前記薬剤組成物。

【請求項2】

前記化合物がスタチンである、請求項1記載の薬剤組成物。

【請求項3】

前記スタチンが、メバスタチン、ロバスタチン、プラバスタチン、ベロスタチン、シンバスタチン、フルバスタチン、セリバスタチン、ダルバスタチン、フルインドスタチン、ニバスタチンおよびアトルバスタチン、並びにそのプロドラッグからなる群より選択される、請求項2記載の薬剤組成物。

【請求項4】

前記スタチンが、ロバスタチン、シンバスタチン、フルバスタチン、アトルバスタチン、セリバスタチンおよびニバスタチンからなる群より選択される、請求項3記載の薬剤組成物。

【請求項5】

経口投与用の、請求項1記載の薬剤組成物。

【請求項6】

患者の目に直接投与するための、請求項1記載の薬剤組成物。

【請求項7】

- アドレナリン遮断剤、炭酸脱水酵素阻害剤、縮瞳アゴニスト、交感神経刺激アゴニストおよびプロスタグランジン・アゴニストからなる群より選択される剤を、さらに含む、請求項1記載の薬剤組成物。

【請求項8】

選択的EP₄受容体アゴニストまたはそのプロドラッグをさらに含む、請求項1記載の薬剤組成物。

【請求項9】

緑内障進行を治療するかまたは阻害するための薬剤組成物であって、HMG-CoAレダクターゼが触媒する、HMG-CoAからメバロン酸への変換を阻害する化合物を、前記治療または阻害を達成するのに十分な量で含む、前記薬剤組成物。

【請求項10】

前記化合物がスタチンである、請求項9記載の薬剤組成物。

【請求項11】

前記スタチンが、メバスタチン、ロバスタチン、プラバスタチン、ベロスタチン、シンバスタチン、フルバスタチン、セリバスタチン、ダルバスタチン、フルインドスタチン、ニバスタチンおよびアトルバスタチン、並びにそのプロドラッグからなる群より選択される、請求項10記載の薬剤組成物。

【請求項12】

前記スタチンが、ロバスタチン、シンバスタチン、フルバスタチン、アトルバスタチン、セリバスタチンおよびニバスタチンからなる群より選択される、請求項11記載の薬剤組成物。

【請求項13】

経口投与用の、請求項9記載の薬剤組成物。

【請求項14】

患者の目に直接投与する、請求項9記載の薬剤組成物。

【請求項15】

- アドレナリン遮断剤、炭酸脱水酵素阻害剤、縮瞳アゴニスト、交感神経刺激アゴニストおよびプロスタグランジン・アゴニストからなる群より選択される剤を、さらに含む、請求項9記載の薬剤組成物。

【請求項16】

選択的EP₄受容体アゴニストまたはそのプロドラッグをさらに含む、請求項9記載の薬剤組成物。

【請求項17】

HMG-CoAレダクターゼが触媒する、HMG-CoAからメバロン酸への変換を阻害する化合物、並びに - アドレナリン遮断剤、炭酸脱水酵素阻害剤、縮瞳アゴニスト、交感神経刺激アゴニストおよびプロスタグランジン・アゴニストからなる群より選択される剤を含む、組成物。

【請求項18】

目薬の容器を含む容器手段であって、該容器手段内に、HMG-CoAレダクターゼが触媒する、HMG-CoAからメバロン酸への変換を阻害する化合物の溶液または懸濁物が配置されている、前記容器手段。

【請求項19】

患者において、緑内障発生のリスクを減少させる化合物を同定する方法であって、H M G - C o A レダクターゼが触媒する、H M G - C o A からメバロン酸への変換を阻害する能力に関して、前記化合物をスクリーニングすることを含む、ここで前記阻害を達成する化合物が、前記リスクを減少させることも可能な化合物である、前記方法。

【請求項 20】

患者において、緑内障進行を治療するかまたは阻害するのに使用可能な化合物を同定する方法であって、H M G - C o A レダクターゼが触媒する、H M G - C o A からメバロン酸への変換を阻害する能力に関して、前記化合物をスクリーニングすることを含む、ここで前記阻害を達成する化合物が、緑内障進行を治療するかまたは阻害するのに使用可能な化合物である、前記方法。